

(様式)

「自然災害軽減のための国際協力のあり方検討委員会」分科会の設置について

分科会等名： 技術協力・被災地支援分科会

1	所属委員会名 （複数の場合は、主体となる委員会に○印を付ける。）	自然災害軽減のための国際協力のあり方検討委員会		
2	委員の構成	20名以内の会員、連携会員		
3	設置目的	我が国の海に囲まれ、美しい山・川・森に恵まれ、温暖かつ四季の変化のある素晴らしい国であり、ここに1億3千万人の人々が暮らすが、国土は百以上の川で分かれ、急峻な斜面があり、平地は少なく、大きな地震が発生し、巨大台風に襲われる自然に対して常に対峙していなければならない自然環境の厳しい国である。このような環境にあって、我々は未だ自然災害を克服したとはいえないが、我が国の防災にかかわる科学と技術は世界的に高いレベルにあるといえる。 これまでも、防災・減災のための災害発生前の技術協力や発生後の救急活動および復旧・復興活動の支援が、国、自治体、大学、公的研究機関、NPO等を中心に行われて来た。これらの我が国の国際協力によって災害軽減の効果が表れて来ているものの世界の自然災害は増大し続けている。 本分科会では日本学術会議の会員、連携会員のみならず、行政、民間からの委員を含めて我が国の防災分野の技術支援と被災地支援の今後のあり方について審議し、提言をまとめる。		
4	審議事項	1. 海外の国々への防災にかかわる技術協力の方法。 2. 自然災害が起きたのちの被災地の支援の方法。		
5	設置期間	<table border="1"><tr><td>時限設置：平成22年4月22日～平成23年5月31日</td></tr><tr><td>常設</td></tr></table>	時限設置：平成22年4月22日～平成23年5月31日	常設
時限設置：平成22年4月22日～平成23年5月31日				
常設				
6	備考			